

広
報

しべ

12
1995

萌える海と大地 さわやか交流郷

No. 346



◆特集

「ニムオロまちづくり

シンポジウム」

まちづくりを考える

景観づくりをテーマにした「ニムオロまちづくりシンポジウム」が10月19日、標津町農村環境改善センターで開催されました。

※「ニムオロ」…アイヌ語。「根室」の意。

=内容はP.2~P.4に掲載=

景観づくりをテーマに まちづくりを考える

「ニムオロまちづくりシンポジウム」



会場には町民など160人が参加

十月十九日、標津町で開かれた根室支庁と標津町主催の「ニムオロまちづくりシンポジウム」の要旨を紹介します。

シンポジウムでは、はじめに本町が現在取り組んでいる「ストーリーのあるまちづくり計画」の一環である景観整備について、本町の岩原尚昭企画振興課長が事例発表を行った後、景観づくりに精通している三人の講師と小田桐町長がパネルディスカッションを繰り広げ、また、会場の参加者からまちづくりや景観整備についても意見が出されました。

会場を訪れた百六十人の参加者は、景観づくりの重要性や取り組み方などについて認識を深めました。

コーディネーター

高須 喜久男氏(たかす・きくお)

(株)Σ開発計画研究所代表取締役。
63年東京大学工学部卒業。同年三井建設(株)入社、84年現職の同研究所設立。北海道景観アドバイザー、北海道文化審議会委員、(社)北海道都市再開発促進協会常務理事などを務める。

パネリスト

濱田 暁生氏(はまだ・あきお)

(株)CIS計画研究所代表取締役。
68年北海道大学大学院工学研究科修士課程修了。70年(株)アトリエ・ブंक設立。89年現職の同研究所設立。北海道景観アドバイザー、北海道歴史を生かすまちづくり推進委員会委員などを務める。

林 美香子氏(はやし・みかこ)

FM北海道パーソナリティー。
76年北海道大学卒業。76年札幌テレビ放送入社、STVアナウンサー。85年フリーアナウンサーとして活動開始。93年コメントギャラリーM・主宰。

小田桐 四郎(おだぎり・しろう)
標津町長

◎テーマ「自然との共生と景観づくり」

濱田 景観というのがまちづくりの中で非常に大きな意味を持つ時代になったが、私も景観の調査をする時に不思議に思うことがある。



濱田 暁生氏

とんだない。これはどうしてだろうと、いつも感じる。

人間というのは、余計なことがかりしている生き物ということ。思いながら常々仕事をしているので、「自然との共生」のテーマから言うと、その人間が自然をうんぬんするというのは、おこがましいことになる。人間がなるべく余計なことをしない、余計な物をつくらないということさえしていれば良いのではないかという気がする。これが結論になってしまうのだが……。

(ホ) トー 先程の事例発表で

自然と共生ができるモデル地域に

濱田

農・漁・林業に関しても自然との付き合い方という部分、それが産業として成り立つという部分では、なかなかうまくいっていないところも段々露呈してきている。地域振興との関わりを、自然を一つの媒介としながら考えていくべき時期にきているのではないかと。そのことと景観をつくるということが大きく関わってくるだろう。これを抜きに景観だけをつくることとはいいのではないかと。



景観づくりをテーマにまちづくりについて意見が出されたシンポジウム

(ポイント2) 根室地域は国内、国際的にも超一流の手つかずの自然があり、農・漁・林業とがきちっと共存している。また、私自身標津町の「晨(あした)を創る町民会議」で住民の方々と話す機会があり、いろいろな意味で住民の意識が非常に高いと実感させられる。そのことから自然と共生した生活圏をしっかりとつくり、それを基礎としての景観づくりが、全道の中でもモデル的に行われていくにふさわしい場所ではないか。

「自然との共生」のキー「標津町」でいえば、漁業もそうだしサケもテーマだから当然、水が関わりをもつ。今日、サーモン科学館を見学し、標津川の水のそ上を見て、やはり自然との共生のキーとして、河川環境をテーマに取り組むことがちょうど良い時期にきていると思う。まち中の緑、公園を緑豊かにしようとするのは、すでにやっているので次の段階として水辺

(海岸も含め)をどう考えるかにあ

官主導型の時代は 終わりを告げた

高須

◎テーマ2「地域連携による景観づくり」

高須 これからは地方、住民が考えるシステムをもつべき。例えば標津町で景観整備が行われると思うが、そのデザインはだれがきめるのか？役所の中にはたまにセンスの良い人がいるが、担当だからといって必ずしもセンスが良いとは限らない。それよりは、濱田さんみたいな人を連れてきて、住民が意見をまとめてこちらのほうが良いのではないかと言った方がはるかにすっきりしたものが出ると思いませんか。意欲のある人が集まって意見を言って決めた方が多分良いのだろうと思う。今はそういう時代になろうとしている。



高須喜久男氏

ひっくり返して言うと、我々は今まで官に依存してきたことだろうかという反省だらけだと思

う。何かあるとすぐ役所が悪い、役人が悪い、行政が悪い、すぐそういう発想になりませんか？

今は時代が急速に変化し、住民が一生懸命パートナーシップを組んでやらなくてはいけない時代になった。ということでも官依存は、あっさりやめた方がよい。そして自分たち住民がしっかりしなくては

いけない。また、自分の時間をさいてもっと社会活動に参加すべき。ボランティアという言葉が出ているが、昔はそれが当たり前だったはず。それがどうも「自分さえ良ければ」という考えになって

てなかなかできない時代になってきた。

地域の連携ということでは、各

地域が得意技をもって集まること

が大事。根室管内では一市四町が

同じような競争をして、同じような

背比べをして付き合っても大した

得がない。地域が連携するとい

うことは、お互いの経営資源、自

分た

うことが大事である。

これが個人の間でも全く同じこ

とが言えて、先程の自立と共生の

関係になるが、個人一人ひとりが

自立していかないと相手と仲良く

してもおもしろくない。ためにな

らないのだから、一人ひとりの個

人を磨くことがすごく大事な時代

になる。いい魅力的な人間がそれ

ぞれいるとお互い尊敬できる。

ただそれだけでは進歩しない。

そこに「創造」というキーワード

がでてくるのではないか。要する

に新しい時代を築いていく自分た

ちの地域が発展していく切り札は

何になるか、ということを常に考

えていく気持ちが必要。まちづく

りでも同じ。ワンステップ前に進

もうという考えから、地域がまと

まる最大のパワーになる。

今、景観の大切さが 求められる

小田桐

現在なぜこの景観づくりに取り

組んだのか。それは、私たちの

住んでいるまちを見つめてみると

非常に雄大な自然に守られている。

我々は慣れすぎてしまって、その

自然の感動というものを感ぜない

傾向にあるが、道南あるいは本州

方面から来られる方々は、本当に

素晴らしい眺望のポイントがたく

さんあると言われており、やはり

私もこのまちづくりの目標は恵ま

れた雄大な自然を守ること

が第一に考えていかなければなら

ないと思っている。その中で教育・

福祉の充実・外国も含めた交流の

ある開かれたまちづくりを目標と

して考えている。

これらを実現していくためには

なんとといっても産業・経済が豊か

でなければならぬ。本町の基幹

産業は戦後間もない林業から、現

在の漁業と酪農に移っているが、

その漁業と酪農を守っていくため

には林業とは切り離すことのでき

ない、まさに運命共同体と言っ

ていいもの。現在本町の一次産業の

生産額は約百十億あり、経済活動

として四〜六倍に展開されていく

と言われており、それは建築・輸

送にも関係するでしょうし、加工

場で働く労働力としても利用され

るでしょうし、いろいろな面で経

済展開がされていく。この経済展

開がまちをつくる一番の基礎にな

っている。ただ、一次産業だけが

良ければいいのではなく、それを

取り囲むいろいろな社会生活との

相互関係が立派に成り立ってはい

なくて地域がつくり上げられる。そ

ういうものをベースにして今、標

津に何が大事かと考えたときにや

はり潤いと安らぎのある生活や景



小田桐四郎町長

観の大切さが求められ、そこにはじめてまちづくりがされていくのではないかと、こう思う。

もう一つは、祭りや郷土芸能についてもやはり心の豊かさを高め、本町にはそういったものが少ない。そのような中の第一点として景観づくりについて取り組んでいる。また、「農をつくる町民会議」については、二十数回の会合

がもたれる中で、私は一切口を出してはいないが、よくやっていただけのものだと思っているわけで、やはり住民の若さ、住民のパワーというものすごさを感じており、私も当初から、住民参加のまちづくりを一つの公約として掲げているが、これもその一つ。

こういうことで現在景観を中心としたまちづくりを行っている訳です。

景観は人々が

創り出すもの

林

◎テーマ3「女性から見る景観づくり」—スライドによる説明—

イギリスのグラスミアは風景のきれいな場所。農村風景は北海道も負けていないが、街に入ると全く違う。日本の街は公園整備が遅れている。イギリスのハイドパークは、ただ緑とベンチがあるだけ。決して手をかけ、お金をかけた公園が素晴らしいという訳ではない。都市計画のプロの中には、建物を建てたら同じ面積の緑が必要という人もいる。まちづくりに緑は欠かせない。

看板について比べると、イギリスは決して大きなものや、けばけばしいものはない。日本のように大きくハデな上に、のぼりが立っているということはない。商店、交通安全ののぼりは街並みをこわす。小さくてかわいい看板で十分。一部のチェーン店などの看板も、工夫して街並みに合ったものに変えている。そこに住む人たちの意識が大切である。商業自体に目を向けてみても、日本は後継者がいないし、近くに大きなスーパーがあるからどうでもいいという考えになっている。欧州の人たちは、後継者がいなくても自分の寿命がある限りがんばろうという気持ちである。小さな店でもきれいに商品を並べてあり、景観をつくっている。日本のように景観をそこねている商店はない。意識を大切に

ある。ちょっとしたことでも景観は変わる。ゴミ関係で見れば、イギリスは清掃関係の仕事の人は、皆グリーンで統一されている。ゴミ箱も街並みとマッチしたすっきりとしたデザインになっているのがすごい。日本だとデザインしすぎて、さらに「ここにゴミを捨てましょう」まで書いてある。これではせっかくのデザインもダメになってしまう。メンテナンスも大切なこと。こうでなければきれいな街並みはできない。

まちづくりは決して男性だけが行うものではない。住民の半分は女性。女性の目というのはすごく大切。女性に子供やお年寄りの意見が集まってくる。どうしても道路や大きな建物というのは男性が一生懸命つくってくれるが、そこに細やかな意見をやっぱり女性が提案していかなければいけないと

思う。ですから、今日もたくさん女性が参加されていますので、今日の感想をどこかの会合で町長に話しをまとめていくと、ますますすばらしいまちになっていくのではないと思う。

参加者からの意見

不可能が可能になる

行政と住民の一体化

長谷川重美 以前、町商工会青年部の中で店のシャッターにストリー性のある絵を書いたらどうか、という話があった。しかし、そこから先になかなか進まなかった。それは次世代を見ている人と経営面などからそこで止まってしまおう人、それを考えると我々も強く押せなかったことがあった。

濱尾己恵子 昨年九月、「農を創る町民会議」で濱田先生方のお話を伺った時、景観づくりで一番大切なこと、それは「守り、育て、つくっていくこと」を基本として考えなさいという話が頭に残っている。標津町はどこにも負けない豊かな自然があり、こんなにすばらしいまちは、おそらく日本中探してもここだけではないかと考えるようになった。

阿部 進 九一年、忠類川に砂防ダムができると聞き、工事も既に始まっており、自然が残っている忠類川に手を加えていいのかわからないこと、私たち「野っ太郎」のメンバーが町長に相談し、土木現業所と話し合ったが、民間団体の力では簡単にいかなかった。その二カ月後、横路前知事がまちづくり集会で羅臼に来た際、相談し、翌日現地を見てもらったところ工事一年間凍結。結果、高さ10mの砂防ダムから3mに縮小となった。行政と民間が一体となれば、ある程度のことではできのではないかと考えた。

高須 今の話は住民が意見を言い、それに専門家が加わり、行政が支援するというパートナーシップが形成されたもの。これがまちづくりの基本。まちづくりのビジョンもマスタープランも大事だが、そのプロセスも大事。それが自然に芽ばえてきていることは非常に良いことだ。



林 美香子氏

ある。

ちょっとしたことでも景観は変わる。ゴミ関係で見れば、イギリスは清掃関係の仕事の人は、皆グリーンで統一されている。ゴミ箱も街並みとマッチしたすっきりとしたデザインになっているのがすごい。日本だとデザインしすぎて、さらに「ここにゴミを捨てましょう」まで書いてある。これではせっかくのデザインもダメになってしまう。メンテナンスも大切なこと。こうでなければきれいな街並みはできない。

まちづくりは決して男性だけが行うものではない。住民の半分は女性。女性の目というのはすごく大切。女性に子供やお年寄りの意見が集まってくる。どうしても道路や大きな建物というのは男性が一生懸命つくってくれるが、そこに細やかな意見をやっぱり女性が提案していかなければいけないと

思う。ですから、今日もたくさん女性が参加されていますので、今日の感想をどこかの会合で町長に話しをまとめていくと、ますますすばらしいまちになっていくのではないと思う。

参加者からの意見

不可能が可能になる

行政と住民の一体化

長谷川重美 以前、町商工会青年部の中で店のシャッターにストリー性のある絵を書いたらどうか、という話があった。しかし、そこから先になかなか進まなかった。それは次世代を見ている人と経営面などからそこで止まってしまおう人、それを考えると我々も強く押せなかったことがあった。

濱尾己恵子 昨年九月、「農を創る町民会議」で濱田先生方のお話を伺った時、景観づくりで一番大切なこと、それは「守り、育て、つくっていくこと」を基本として考えなさいという話が頭に残っている。標津町はどこにも負けない豊かな自然があり、こんなにすばらしいまちは、おそらく日本中探してもここだけではないかと考えるようになった。

阿部 進 九一年、忠類川に砂防ダムができると聞き、工事も既に始まっており、自然が残っている忠類川に手を加えていいのかわからないこと、私たち「野っ太郎」のメンバーが町長に相談し、土木現業所と話し合ったが、民間団体の力では簡単にいかなかった。その二カ月後、横路前知事がまちづくり集会で羅臼に来た際、相談し、翌日現地を見てもらったところ工事一年間凍結。結果、高さ10mの砂防ダムから3mに縮小となった。行政と民間が一体となれば、ある程度のことではできのではないかと考えた。

高須 今の話は住民が意見を言い、それに専門家が加わり、行政が支援するというパートナーシップが形成されたもの。これがまちづくりの基本。まちづくりのビジョンもマスタープランも大事だが、そのプロセスも大事。それが自然に芽ばえてきていることは非常に良いことだ。

梅木勝美 夏になると交通事故が多発するが、その防止策として眺望ポイントを含めた休憩所を国道沿いに数カ所つくる必要があるのではないかと。それを今、いろいろな形である程度実現の段階にきている。

阿部 進 九一年、忠類川に砂防ダムができると聞き、工事も既に始まっており、自然が残っている忠類川に手を加えていいのかわからないこと、私たち「野っ太郎」のメンバーが町長に相談し、土木現業所と話し合ったが、民間団体の力では簡単にいかなかった。その二カ月後、横路前知事がまちづくり集会で羅臼に来た際、相談し、翌日現地を見てもらったところ工事一年間凍結。結果、高さ10mの砂防ダムから3mに縮小となった。行政と民間が一体となれば、ある程度のことではできのではないかと考えた。

高須 今の話は住民が意見を言い、それに専門家が加わり、行政が支援するというパートナーシップが形成されたもの。これがまちづくりの基本。まちづくりのビジョンもマスタープランも大事だが、そのプロセスも大事。それが自然に芽ばえてきていることは非常に良いことだ。

景観づくり標語コンクール

小中学生の入選者を表彰



のでどうぞご覧ください。

入選者は次のとおり(敬称略)。

【総合拠点ゾーン】▽入賞 相馬敦子(古多糠中三年)「ふれあってみんなが集う街広場」▽佳作 遠藤夏海(標津小四年) 三浦歩(同六年) 加藤正輝(川北中二年) 畑中大二郎(標津小四年)

【沿岸ゾーン】▽入賞 渡辺理沙(古多糠中三年)「海・海・海、海はみんなの宝物」▽佳作 三船由美子(薫別中二年) 下柵棚聖(同) 佐藤翼(標津小四年) 五百木孝恵(川北中三年)

【農村拠点ゾーン】▽入賞 長谷川圭吾(川北中三年)「開拓の風情と活気を活かす街」▽佳作 吉田智美(古多糠中二年) 桜井重紀(川北中三年) 森井章仁(同三年) 佐藤大樹(同一年) 今井佑美(同三年)

【農村ゾーン】▽入賞 黒田恒平(標津小五年)「牧場の朝みどりの中に白と黒」▽佳作 小玉雄樹(古多糠中三年) 吉田智美(同二年) 川瀬陽(同六年) 鈴木英伸(同三年) 小玉樹里・竹村真司・山田一輝(合作・古多糠小一年)

【特別賞】笹木かほり(川北中三年) 笹木祐樹(北標津中三年)

町では現在、景観整備事業を進めています。この一環として「景観づくり標語コンクール」が行われました。

このコンクールは、景観ガイドプランを検討している「農(あし)た」を創る町民会議の提案で実施したもの。景観づくりに関心を持ってもらおうと、将来を担う小・中学生から標語を募集しました。

標語は、町内を四つのゾーンに分け、それぞれのゾーンにふさわしいものを募集し、二百九十五点が寄せられました。

応募作品は、アイデアに富ん

だ甲乙つけがたいものが大多数で、8町民会議の代表や教育関係者、景観づくりの専門家など十人の審査員で審査した結果、各ゾーン入賞一点、佳作五点と、特別賞二点が入選作品として決定しました。

十月十六日に役場会議室で表彰式が行われ、小田桐町長から一人ひとりに賞状と記念品が手渡されました。写真Ⅱ。

入選作品のうち入賞四点については、現在策定している景観ガイドプランの中で使用することになっています。なお、入選作品については役場ロビーに展示しています

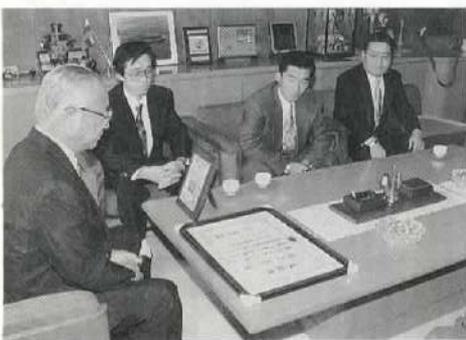
文部大臣表彰に輝く

標津スケート少年団

選手活躍とそれを支えた父母の熱心なリンクづくりなどが認められ、このほど社会体育優良団体として標津スピードスケート少年団が、文部大臣表彰を受けました。

同少年団は昭和五十七年に発足、今年で十四年目を迎え、現在の団員は小学一年から中学三年までの七十人。団員の父母が活動を支える育成会を構成しており、シーズンになると、ほとんど毎晩、父母がリンクづくりに当たっています。この甲斐あって昨シーズンは、戸田喜子さんや大菅小百合さんが全国大会で活躍するなど、選手のレベルアップが図られています。

十月十八日、同育成会・田中正会長らが役場を訪れ、小田桐町長に報告。田中会長は「各種競技が



ある中で、文部大臣表彰を受賞し大変名誉に思う」とあいさつ、小田桐町長は「受賞はみなさんの夜遅くまでの活動が結びついたもの。スポーツの町を宣言している本町にとって、一層のスポーツ振興、発展への足がかりとなる」とたたえました。



文化祭でにぎわう

十一月、町内各地で文化祭行事が開かれ、多くの町民でにぎわいました。

十一月三日、農村環境改善センターと川北公民館で芸能発表が行われ、ハンドベル演奏Ⅱ写真Ⅱや合唱、詩吟、舞踊など日頃の練習の成果を披露しました。

また、展示コーナーでは生け花、押し花、フラワーアレンジ、書道展などが開かれ、訪れた町民は真剣に見入っていました。



なくそう “いじめ”

PTA連合会研究大会

子供と父母、教師、地域がいじめ問題についてそれぞれの立場から考え、問題解決に向けた意識を高めようと、十月第四土曜日のいじめ問題を考える日に合わせ、なかよしさわやかDAY・町PTA連合研究大会が、十月二十八日同連合会（森岡亭会長）の主催により、町川北公民館で開催されました。

大会には、管内の小、中、高校教師、PTA、一般住民約百八十人が参加。家庭での子供に対する

対応についての映画が上映されたあと、標津中三年の益子健次くんが「いじめがあっても話してくれなければ解決しない」と発表し、引き続きグループに分かれ、いじめ問題について貴重な意見が出されました。

最後に、いじめ未然防止と問題解決に向けた全体宣言をし、閉会しました。全体宣言文は次のとおり。

全体宣言

わたしたちは、お互いを人間として尊重し、一人一人が思いやりの心をもち、相手の痛みを感じ取り、語り合い、勇気をもって表現し、行動できる人になるとともに、学校、家庭、地域、行政機関が協力し合ってそれぞれの役割を果し、わたしたちのまわりからいじめをなくし、子供たちがすこやかにたくましく育つ環境づくりに努めます。

管内の「手をつなぐ親の会」が交流

ハンディキャップをもっている人たちを取り巻く問題について話し合い、明るく生き生きと生活できる地域づくりのために、望ましい親の会の活動の在り方について



考えようと、十月二十八日、町中央公民館で第十三回管内手をつなぐ親の会交流会が開かれました。

交流会には管内四町の親の会役員や会員約四十人が出席。主催者の管内心身障害者（児）連絡協議会の伊藤昌直事務局長が「管内の福祉と教育の現状」と題して報告し写真しあと、出席者は各地区親の会の活動と現状について意見を交換し交流を深めました。

開校80周年を祝う

川北小学校

十一月五日、川北小学校開校八十周年記念式典が同校体育館で開催されました。

一九一五年（大正四年）九月に私設標津原野教育所として開校以来同校を築立った卒業生はこれまで約二千人。式典には、児童や歴任教員、卒業生など約二百五十人

が出席し、式辞などのあと、歴代校長、PTA会長などに感謝状が贈られたほか、「開拓と顕学の像」の製作者、米坂ヒデノリ氏、グラウンドピアノを寄贈した松實善行氏の特別表彰が行われました。

最後に児童たち全員により、同校の歴史を歌と詩で綴った「未来に向かって」の呼びかけが行われ同校の発展を願いました。



資源を大切に

消費者協議会が古紙回収

「限りある資源を大切に」と、町消費者協議会（田村君江会長）は、十一月十四日、町民の協力を得て古紙回収を行いました。

同協議会では、古新聞、雑誌、ダ



ンボールなどの回収を毎年二回実施しており、今回は約五トンの古紙を回収、早速業者に引き取ってもらいました。

金婚式おめでとう

町が記念品を贈る

十一月九日、町では金婚式（結婚五十年）を迎えられた五組のご夫婦に記念写真と記念品を手渡しお祝いしました。



国際大会に出場

全日本空手道連盟標準支部

今年の全国空手道選手権大会の団体戦で優勝するなど、好成績を取めた(財)全日本空手道連盟弘道会標準支部(早川弘三支部長、会員百二十人)の選手十五人(うち地元選手六人)が、十一月十九日開催の国際少年少女空手道選手権大会(AAK国際空手道連盟主催)に出場するため、開催地のフィリピン・マニラ市に向け出発しました。

同大会は第一回記念大会として日本チームが招待されたもの。出場資格は全国大会で三位以内入賞者などで、このほど日本代表チー



ムとして出場するのは全一で三十五人。このうち、同支部十五人が北海道選手団として出場します。出発にあたり役場を訪れた同支部の地元選手「写真」を代表して佐賀二ナサラさん(標準中一年)は、「日本代表として、また、標準町代表として名に恥じないようにがんばってきます」と力強く決意を述べました。



人形劇を楽しむ

上古多糠小で開催

人形劇団えりっこ公演「マーシャとクマ」が、十月二十九日、上古多糠小・上古多糠小中PTA主催により、上古多糠小学校で開かれ親子連れなど約百二十人が訪れました。

この公演は、同学校が今年度で

閉校になることから、その前に実施しようとして、標準おやこ劇場(椎久真理子代表)の協力で開催されたものです。

明るい舞台と軽快な音楽にのせて、マーシャとクマの心あたたまる交流を描いた人形劇に、会場を訪れた子供たちは楽しいひとときを過ごしました。



曙町内会でレクリエーション

十月二十九日、曙町内会(小川悠治会長)による町内会会員交流親睦会が同町内会広場で行われました。

この親睦会は、日頃同じ町内会に居住していても一堂に会する機会が少なく、会員同士の氏名すらわからない状況にある中で、町内会事業への自主的参加の促進と活動の活性化を図ろうと行われたも

の。

当日は、子供からお年寄りまで八十四人が参加し、各家庭から持ち寄った品物を景品にしたユニークなゲームやスピードくじ、○×クイズなどが行われ、また親睦会では、同町内会婦人部が作ったおにぎり、秋あじ鍋、ジンギスカンなどに舌鼓をうち、参加者は楽しい一日を過ごしました。

日用品をはまなす苑に

弥栄町内会婦人部

十月二十日、弥栄町内会婦人部(前田節子部長)が、はまなす苑を訪れ、バスタオルやシャンプー、石鹸などの日用品を贈りました(写真はその一部)。

これは、同婦人部がボランティア活動の一環として行われ、これらの日用品は、町内会各家庭の持ち寄りにより集まったもので三百五十点にもおよび、入所者に喜ばれました。



新鮮なホタテを販売

毎週土曜の「標準魚の日」

標準町サケ・ホタテ消費流通対策協議会(戸田雅彦実行委員長)主催による、毎週土曜日の「標準魚の日」は、サケからホタテ販売に主役が入れ替わりました。

十一月十八日からさっそくお目見えた新鮮なホタテ「写真」は、四キロ千円の格安で販売され、人気を呼んでいます。

今年の「標準魚の日」は、十二月二十三日までの予定となっております。これからはホタテのほかにもお歳暮・正月用の新巻やイクラ、筋子などの水産加工品も格安で販売する予定となっております。

お知らせ

★販売場所が町商工会前駐車場から「漁協卸売市場」に変更になりました。なお、時間は午後一時からです。



桶谷(秀真幸)さんちの
みさき
美咲ちゃん(H6.12.4生)

曙町 15



身長 体重

★生まれた時... 48.1cm 3.220g

★今では... 72.0cm 8.6kg



お母さん
からの
メッセージ

とにかく毎日、活発に動き回って、いたずらやり放題の美咲です。

健康に育ってくれるのが何よりですネ。

「この大学を選びました」と、北海道酪農学園大学へ。
最近では女性の酪農ヘルパーは増えていると言われていますが、その数はまだ少ないようです。ヘルパーの仕事はどうですかと聞くと、「農家によって牛の扱い方やえさの種類など様々

新町民に
スポット

JA 標津

高橋久恵さん



「ヘルパーで
がんばります」

「なさい」など、そのやさしい一言がうれしいですね」
酪農の魅力は「私は乳製品が大好き。青空のもと、この雄大な北海道の大自然の中で生き生きと仕事ができることです」
標津の第一印象は「何もないと。でも、海や目の前の国後

島、冬の流水など知るうちに感激しました。また、川北や薫別温泉の露天風呂は最高。友達と遊びに来た時によく連れていき喜ばれます。「標津はサケの水揚げ日本一と聞きましたが、新聞などの印象では水揚げだけが先行しているように感じます。もっと特産物を大きくPRしてはどうでしょうか」
趣味はキャンプ、登山、露天風呂めぐり、カヌーとアウトドア派。「カヌーは今年7月に仲間と3カ月ほどで完成させ、別海町小野沼公園で初乗り。その後、屈斜路湖や千歳川にも挑戦しました」と、乗り心地は最高とか。
将来の夢は「この広い北海道でいい人とめぐり合い、のびのびと暮らすこと。相手の職業は問いません。性格が合えば」と、元氣ハツラツの高橋さんでした。

時事川柳

花が散る	残った花は	強かつた	布施惣一郎
わが経験	官官会食は	潤滑油	" "
居住いを	見せるその人	元芸奴	" "
鮭定置	めげるなイカが	どんと獲れ	岡部 清弘
放浪の	野犬に過疎の	星きれい	太田 明人
ネオン恋し	家には夜警の	妻がいる	" "
難産で	生まれる時から	母泣かす	" "
子等の歓声	降った晴れたで	虹が出来	戸村 寿生
静かさや	法話聞き入る	秋の雨	" "
哀愁の	土橋のわかれ	栗おこわ	" "
押し花の	知識学んで	友とする	今泉 慎子
文化祭	初出品の	押し花展	" "
枯草の	実をついばむや	小鳥達	" "

標津病院

医師紹介

みなさんの健康維持のため、がんばります

大野高義医師の後任として、このほど着任した秋吉裕也医師を紹介いたします。

勤務期間は、10月27日から3月31日までの約5カ月の予定です。

秋吉医師(内科医)



▽年齢—28歳
▽生まれ—九州・福岡県久留米市
▽出身校—久留米大学(この春に博士号を取得)
▽趣味—特にありませんが、妻と暇をみて北海道を満喫したいです。
▽標津の印象は—
海が青く大変きれいだ。また、一面の牧草地はテレビの「大草原の小さな家」に出てくるような景色で何度見ても飽きません。
▽抱負は—
町民みなさんの健康維持のため一生懸命がんばります。みなさん、糖尿病や高血圧などに気を付けて健康にお過ごしください。

防災・防犯

冬の交通安全運動 実施中!

■期間

12月1日(金)～12月10日(日)

■運動の重点

- ・スリップなどによる交通事故の防止
- ・飲酒運転の防止
- ・スピードの出し過ぎなどの無謀運転の防止
- ・シートベルト着用の徹底

—中標津警察署・役場住民課—

盗難の防止対策は 万全ですか?

道警では、年末に多発する犯罪や事故などを未然に防ぐため、特別警戒を実施しています。町民の皆様も次のことに気をつけて犯罪防止にご協力ください。

- ①金融機関からの多額の現金を引き出しはできるだけ2人以上で行う。
- ②長期間留守にする時は戸締まりを確認し、お隣に一声かけて。
- ③凶悪事件の多くは盗難車が使用されます。車から離れるときはキーを抜き、

町の年末・年始の業務

●役場

(12月29日御用納め、1月8日御用始め)
12月30日から1月7日まで休みとなります。
休み中の急用については随時受け付けします。

●標津病院

12月30日から1月7日まで休診となります。
急患については随時受け付けします。

●中央公民館・川北公民館

12月30日から1月7日まで休みとなります。

●総合体育館

12月30日から1月5日まで休みとなります。

●し尿くみ取り

12月30日から1月7日まで休みとなります。

●ゴミ収集

12月30日から1月5日まで休みとなります。

ドアロックを。

—中標津警察署—

防火のポイント

- 寝たばこ、タバコの投げ捨てはやめましょう。
- 子供にはマッチやライターで遊ばせないようにしましょう。
- 風呂の空だきをしないようにしましょう。
- ストーブには燃えやすい物を近付けないようにしましょう。
- 寝る前には必ず火元を確認しましょう

—標津消防署—

サーモン科学館・ポー川史跡自然公園

休館・休園のお知らせ

サーモン科学館とポー川史跡自然公園は、次のとおり休館・休園しますので、皆様のご協力をお願いします。

●サーモン科学館

平成7年12月1日～平成8年1月31日

●ポー川史跡自然公園

平成7年11月24日～平成8年4月28日

統計調査

平成7年 国勢調査結果速報

平成7年10月1日現在により実施された国勢調査にあたっては、調査員をはじめ町民皆様にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。町の事務について一部終了しましたので、その概数をお知らせします。

なお、後日総務庁統計局から公表される数字とは異なる場合がありますのでご承知願います。

		平成7年	平成2年	比較
人	男	3,568 ^人	3,678 ^人	△110 ^人
	女	3,519 ^人	3,632 ^人	△113 ^人
口	計	7,087 ^人	7,310 ^人	△223 ^人
世帯数		2,579 ^{世帯}	2,450 ^{世帯}	129 ^{世帯}

★問い合わせは、役場企画振興課広報統計係(☎内線110)まで。

寄付ありがとうございました

●町に—

体育文化振興基金として

- ・ふれあいスポーツデー実行委員会
- 川北小学校グランドピアノ購入費(同校開校80周年記念)として

- ・(株)川きた(札幌市)松實善行さん

●町社会福祉協議会に—

活動資金として

- ・曙町内会・聖友標津支所

●保育園に電子オルガンを—

- ・永井雅幸さん(双葉保育園に)
- ・椎久孝三郎さん(薫別わかば保育園に)

役 場

☎ 2 - 2131 (代表)

交差点改良工事を 行います

国道244号線浜茶志骨、道道野付風連公園線交差点改良工事を次のとおり実施しますので、ご協力をお願いします。

■工事期間

平成7年12月上旬～平成8年3月下旬

■工事箇所

交差点～茶志骨橋～神社(延長400m)

★詳しくは、役場建設課管理係(☎内線223)まで。

募集

北方領土返還要求運動 歌唱歌詞

一日も早く北方領土が早期返還され、日本人とロシア人がより良き隣人として付き合いのできる日々が来ることを願い北方領土返還要求運動歌唱歌詞を募集します。

★応募方法など問い合わせは、役場総務課北方地域交流推進係(☎内線206)まで。

スポーツ

☆12月のスポーツ☆

3日(日)

▷第3回親睦ソフトバレーボール大会

[9時30分～川北体育館]

▷第14回町バレーボールリーグ決勝

トーナメント [9時～総合体育館]

▷第14回防犯少年剣道大会・第19回東西対抗剣道大会

[9時30分～鳩ヶ丘体育館]

10日(日)

▷第2回町民バスケットボール大会

[9時～総合体育館]

▷第19回管内中学校剣道新人戦優勝大会

[9時30分～鳩ヶ丘体育館]

17日(日)

▷標津町バドミントン総合選手権大会

[9時30分～総合体育館]

健康相談・健診日程表

〈12月分〉

※農改センター……

農村環境改善センターの略

乳幼児

■乳幼児相談

11日(月)〈標津〉

[9時30分～10時30分・13時30分～14時30分/農改センター]

※午前の部 10・13カ月児、午後の部 4・7カ月児対象

12日(火)〈川北〉

[13時30分～14時30分/川北公民館]

※4・7・10・13カ月児対象

■乳児検診

18日(月)

[13時～13時30分/役場2F集会室]

■離乳食教室

14日(木)

[13時30分～農改センター]

■1歳6カ月健診

19日(火)

[9時～10時/役場2F集会室]

■3歳児健診

20日(水)

[13時～14時/役場2F集会室]

■歯ピカ教室

4日(月)・5日(火)

[9時30分～10時30分、13時30分～14時30分/農改センター]

成人

■一般健康相談

4日(月)

[13時30分～15時/茶志骨パイロット会館]

12日(火)

[10時～11時30分/川北公民館]

22日(金)

[13時～16時/役場相談室]

■糖尿病健康相談(予約制)

20日(水)

[10時～16時/役場相談室]

★お問い合わせは、役場福祉保健課

(☎内線129・131・138)までお気軽に。

ごみの収集日

曜日	一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	不燃物収集日 (無料)
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・ 緑町・弥栄町・曙町	12月7日・12月21日 1月8日 (木)
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	12月8日・12月22日 1月9日 (金)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・ 薫別・崎無異・古多糠	12月6日・12月23日 1月10日 (水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

福祉

歳末助け合い運動にご協力を!!

平成7年度の歳末助け合い運動が12月1日から全国一斉に始まっています。

この運動は、町内の恵まれない方々に歳末見舞金を贈り、町民そろって楽しいお正月を迎えようというものです。この趣旨をご理解いただき、皆様のあたたかいご協力をお願いします。

見舞金の使途については、町民生委員児童委員協議会、町社会福祉協議会で十分検討され対象の方々へ贈られます。

また、「大口篤志募金」として、町内の事業主の方々に、共同募金会役員が篤志募金をお願いいたしますので、その節はご協力お願いいたします。

—(社福)北海道共同募金会標津支部—

高齢者無料バスのご利用を

70歳以上の方を対象に町内の各停留所間のバス運賃が無料となる乗車券を交付するこの事業は今年度から実施され、10月末までに169の方が登録し、1,900回以上利用されています。

申請は随時受け付けていますので、年の途中で満70歳に達した方など、これまで乗車券の交付を受けていない方で乗車券の利用を希望される方は、次のとおり申請してください。

■利用できる方

町内に住所がある方で、申請時点で満70歳に達している方

■申請窓口

役場福祉保健課または川北公民館

■申請者

本人、家族または民生委員

■申請に必要なもの

写真(縦3.0cm・横2.5cm)

※身体障害者手帳を有する方は、申請の際に提示してください。

■町から交付されるもの

- (1)乗車身分証(1枚)
- (2)乗車券(年48枚)

■利用できるバス

阿寒バス(株)が運行している定期便の乗り合いバスの路線で、町内の各停留所間とします。

★詳しくは、役場福祉保健課社会福祉係(☎内線126・137)まで。

国民年金

再加入の手続きをお忘れなく!!

～みんなが加入し、みんなで支える

国民年金シリーズ⑥～

12月に入ると春先から季節的に働いていた方が離職され、厚生年金等から国民年金に再加入することとなります。

この手続きは役場国民年金係で行うこととなりますが、手続きを忘れるとその期間が空白となり、将来、国民年金受給の際に期間が足りなくなってしまうことがありますので、年金手帳と印鑑をご持参のうえ忘れずに手続きしましょう。

★国民年金に関する相談・問い合わせは役場住民課国民年金係(☎内線130)まで。

中標津空港利用促進期成会

中標津～東京線モニターツアー実施中

中標津空港利用促進期成会では、エアニッポン(株)の協力により、根室管内の住民を対象とした中標津～東京間の格安モニターツアーを実施しています。

このモニターツアーは同空港の開港30周年を記念して行われているもので、期間は11月から翌年1月までの3カ月間。

この機会にぜひご利用いただき、中標津～東京間の利用促進にご協力をお願いします。

なお、座席の限定などの条件がありますので詳しくはお近くの旅行代理店にお

問い合わせください。

—中標津空港利用促進期成会—

道路

除排雪作業にご協力を

今年も積雪の時期を迎えますが、町では、除排雪作業をより効率的に行うため、町民の方々に次のことについてご理解とご協力をお願いいたします。

■路上駐車禁止。

■除雪車が作業を終了した路上には雪を出さない。

■子供には道路周辺でのソリ遊びなどはさせない。

■屋根の雪が歩道上に自然落下すると予想される場所には、雪止めなどの措置を施す。

■個々で重機などによる除雪を行う場合は、歩道や車道に山積みしない。

★詳しくは、役場建設課維持係(☎内線226)まで。

通行止めのお知らせ



上図のとおり、一般道道古多糠川北線の一部が冬期間通行止めとなりますので、お知らせします。

■期間

平成7年12月1日～平成8年4月10日
—釧路土木現業所中標津出張所—

まちの声 ①①⑥



漁業のまち鉦路から同じく、漁業のまち標津に来て、三年がたちました。標津に来ての第一印象は、「なんて、さびしいまちなんだ！」でした。夜の七時を過ぎると人通りも少なく、まちの中も真っ暗



竹森 睦子さん (双葉町)
=はまなす苑勤務=

「さびしいまち」と思ったが…

で、「なんでこんな所に来てしまったのだろう。早く鉦路に帰りたい」と、ホームシックになることもしばしばありました。それも半年過ぎるとその静けさにも段々と慣れ始め、三年たった今では、たまに鉦路へ帰ると「うるさいまちだなあ」と思うようになります。なりました（わがままでと思いがすが…）。

標津へ来て一番びっくりしたことは、町全体の横のつながりがあることです。隣に住んでいる人がだれなのか、わからない、どんな人がいるのか知らないという世の中に、近隣に住んでいる人の顔や名前まで知っているのはびっくり

りしてしまいます。

それと一年中を通して行事が多いのにも驚いています。毎月、何らかの行事があり、常に町民同士のふれあいがあると思います。

そして、自然に満ちあふれているのは、標津の魅力の一つだと思います。

海や山に囲まれ、秋になると鮭がのぼってくる川、などなど：あげていくときりがありません。北海道に住んでいながらそういう風景がなかなか見られなかったもので、そう思うかもしれないませんが、段々このような風景も失われつつあります。

ここ標津は、この恵まれた自然をいつまでも大切に、ずっとこのままであってほしいと思います。

次の「まちの声」は、川北共栄町の奥雅彦さんです。

編集のまど

▷特集「ニムオロまちづくりシンポジウム」いかがでしたか？▷私も最初の頃は景観づくりといわれても、ピンとこなかったのが正直なところでした。でも、何度か「晨（あした）を創る町民会議」の中で濱田先生方の話を聞いたり、スライドを見ているうちに「ははあー。これなんだな」と、うなずくようになりました。▷やはり、潤いと安らぎのあるまちづくりには景観づくりが不可欠であり、心の豊かさやつはこういうことなんだと、思えるようになった気がします。▷濱田先生が景観づくりを進める上で「人間は余計なことばかりしている生き物…」と話していましたが、そうならないようにしたいものです。（ひ）

戸籍の窓口から (10月11日～11月10日届出分)

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者
三井 薫ちゃん	緑町	三井 真弘・敦子
荒屋 南実ちゃん	緑町	荒屋 恵一・美紀子
杉山 透来くん	薫別	杉山 佳尚・織江
高橋 紗希ちゃん	忠類	高橋 功・小百合
湯浅 将司くん	橋ヶ丘町	湯浅 健二・和美
奥 彩華ちゃん	共栄町	奥 雅彦・松枝
新津なつみちゃん	望ヶ丘町	新津 信雄・裕利子
阿部 卓来くん	寿町	阿部 徹・香
山崎 綾斗くん	橋ヶ丘町	山崎 守・一恵

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住所
川村 仁さん	守田洋子さん	寿町

人のうごき	人口	6,805人 (+ 1)
	男	3,305人 (+ 5)
	女	3,500人 (- 4)
世帯数	2,329世帯 (- 3)	

※平成7年11月1日現在()は前年比

町内の交通事故	人身事故	1件 (14)
	負傷者	1人 (17)
	死亡者	0人 (2)
	物損事故	18件 (179)
	<small>(10/16～11/15) ()は累計</small>	